

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）
令和七年一月十日発行（毎月一回十日発行）

定価 五〇〇円

第1000号

龍

跳

新年試筆作品号

第八十一卷

2

月号

高知
龍跳書道会

迎春

本年もよろしく

お祈りいたす

元旦

新子試筆

森本瓊象

靈心静慮

森本瓊象

靈心静慮

廣末幽念

老伴鶴に如くは無し

幽念

老伴鶴に如くは無し

福原 曉雲

雲從龍 風從虎

今秋乙巳春の新年試筆 曉雲書

雲從龍 風從虎

梅川 桂龍

この道しかなない春の雪ふる

山頭大句 梅川桂龍

この道しかなない春の雪ふる

塚地桂峰

夢與落花飛

塚地桂峰

夢與落花飛

隅田亘心

農話昨收橘僧供
新摘茶

亘心書

農話昨收橘僧供新摘茶

武内美仁

徳有鄰

美仁

徳有鄰

野島桂山

松静かに鶴声を留む

桂山

松静かに鶴声を留む

大原 桂園

發祥致福

發祥致福

岡崎 綠水

風靜語丹鶴

風靜語丹鶴

佐々木 港花

輪廻轉生

輪廻轉生

中城康華



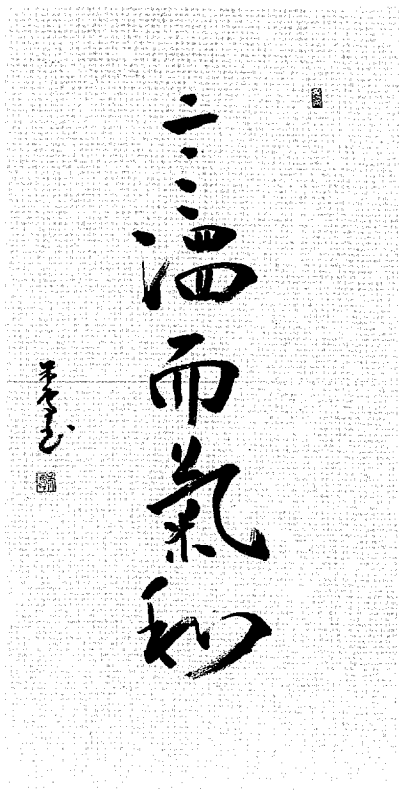
一陽來復

水田紅子



春華 秋實

高橋朱鳥



言溫而氣和

松浦明子

龍飛鳳舞

明子書

龍飛鳳舞

横山桂華

さざんか

桂華書

さざんか

岡田雄山

吉瑞

雄山書

吉瑞

天野喜泉

瑞烟呈福寿

天野喜泉

瑞烟呈福寿

明石美桂

清如玉壺冰

明石美桂

清如玉壺冰

石川美水

長樂萬年

美水書

長樂萬年

市原處艸

上巻六
海
如
強
不可
得

坂村真民詩
處艸書

坂村真民詩

今井真理

飛燕

飛燕

岩
河
里
華

翠竹青
松瑞
松清

里華書

翠竹青松瑞松清

岩崎竹山

雲開萬壑春

竹山書

雲開萬壑春

岩谷紅花

夢與白雲遊

紅花書

夢與白雲遊

氏原美泉

鶴舞遊

美泉 氏原

鶴舞遊

大八木洋女

言温而氣和

洋女 氏原

言温而氣和

大石千施

月落江路黑 豈易却人語
林
幾家深樹裏 一火夜漁歸

大石千施 圖

月落江路黑 前邨人語稀 幾家深樹裏 一火夜漁歸

岡林邦心

梅花偏能識春

邦心書

梅花偏能識春

大崎紫陽

酒能祛百慮

大崎紫陽

酒能祛百慮

岡本志峰

一聲啼鳥破春寐

岡本志峰

はじめて鳴く鳥のひと声は春の寂しさを破る

大平圭子

梅花雪中香

圭子 書

梅花雪中香

小野山 美喜

梅花偏能識春

美喜 書

梅花偏に能く春を識る

小野紅花

德不孤心有隣

紅花
志

岡本空仁

養其拙

空仁

德不孤心有隣

養其拙

門田惠子

春風柳上歸

門田惠子書

春風柳上歸

鎌倉春葉

楓葉欲殘看愈好
梅花未動意先香

鎌倉春葉
門田惠子書

楓葉欲殘看愈好
梅花未動意先香

河村容舟

夢回春草池塘外
詩在梅花烟雨間

容舟

佐竹江月

和風慶雲

江月

和風慶雲

武政幽雅

千峰紅葉村

武政幽雅

千峰紅葉村

田村和子

山空松子落

新子試筆 和子 六

山空松子落

戸田孝北

愛山泉樂弓候

孝北



山泉を愛し静かでゆるやかな事を樂しむ

中平美峰

吾不如老農

美峰



吾不如老農

西内仁子

道無窮

仁子書

道無窮

西森啓助

獻壽符萬歳

啓助書

寿を献じ万歳を符す

西森令泉

梅柳度江春

令泉

梅柳度江春

西山極山

四海生春風

極山

四海生春風

野中恵花

一州一筆

野中恵花

一州一筆

浜崎洋堂

永壽嘉福

河

中

公

印

印

永壽嘉福

原
桂
春

鳥
群
花
舞

弘
田
賀
峰

鳥
群
花
舞

弘
田
賀
峰

江
月
照
松
風
吹

弘
田
賀
峰

江
月
照
松
風
吹

広田秋桜

光明藏

秋桜
書

光明藏

深瀬緑堂

花開還更新

深瀬
書

花開還更新

藤原朱鳳

琴書常自樂

朱鳳上圖

琴書常自樂

前田秀華

龍行席步

秀華上圖

龍行席步

森光望春

壽者福之首

望春書

壽者福之首

森本寿山

春逐鳥聲開

寿山書

春逐鳥聲開

矢野峰臣

松風一曲未清音

峰臣

松風がしきり吹いたが微妙の音楽が来たるに似ている

山崎隆志

一意専心

隆志

一意専心

山本心春

爽路濃花千樹發
垂柳萬條新

爽路濃花千樹發垂軒弱柳萬條新

橫田紫秋

春逐鳥聲開

紫秋

春逐鳥聲開

橫山星舞

季明帖之秋氣深不
審氣力復何如也

星舞

吉田深美

季明帖伝秋氣深不審氣力復何加也

枝無忘其根德
無忘其報

合初七年武筆
深美

枝無忘其根德無忘其報

小川理香

春至人偏去春歸人未歸
空逐落花飛

理香之印

江西澄翠

春至人偏去春歸人未歸可憐雙燕子空逐落花飛

福壽

福壽



擬山園帖第一
ぎざんえんちよう

王 鐸
おう たく

玉書過箕山齋同
 魯齊彥甫鳴諧和
 歌吹簫調絃天氣不
 嚴沍解衣襲礪日
 薄莫興趣勃然
 書數綾幅頗不惡
 何也有媿姬絜集

玉書過箕山齋。同

魯齊彥甫鳴諧和

歌吹簫調絃。(氣)天氣不

嚴沍解衣襲礪。(礪)日

薄莫興趣。(興)勃然

書數綾幅。頗不惡

何也有媿姬絜集

ぎざんえんちよう
擬山園帖第一

わう たく
王 鐸

王鐸（二五九二—一六五二）は河南孟津の人。字は覺斯、齋号を擬山園などと称した。天啓二年（一六二三）三十一歳で進士に合格。文辞に巧みであったので、庶吉士・翰林院編集を授けられた。

書は晋唐の古法帖、とりわけ王羲之・猷之父子を法とし、原帖を手掛かりとして表現の上に独自の工夫を重ね、情熱や意気そのままに激しい筆を続本（紙面）に走らせた。「この書卷は」運筆が確かであり、氣迫充実した風格を示している。王鐸学習にはこのうえない法書である。

春季昇段級試験作品募集

▽師範の部 (受験資格・本会準師範位に限る)

。課題

君自故郷來 應知故郷事
來日綺窗前 寒梅着花未

(王維 雜詩)

君は故郷より來る／応に故郷の事を知るべし／來りし日 綺窓の前の
／寒梅は花を着けしや未だなりや

。右の詩句を小画仙半折に隸、楷、行草体の三枚と三十二ページ王鐔擬山園帖第一、十二文字以上を節臨して計四点出品のこと。
。作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現段級と姓名を明記すること。
。当選者は本会師範位に推挙する。

▽第一の部 (受験資格 一般部段位、級位の者)

。課題

草暖雲昏萬里春 宮花拂面送行人

草は暖かく雲は昏し 万里の春／宮花 面を払つて行人を送る

。右の詩句を小画仙半折に楷、行草体の二枚と三十二ページ王鐔擬山園帖第一、十二文字以上を節臨して計三点出品のこと。
。作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現段級と姓名を明記すること。
。当選者は準師範位以下相当段位に認定編入する。

▽第二の部 (受験資格 一般部級位の者)

。課題

萬事皆如夢

万事 皆 夢の如し

。上記を楷、行、草の三体を半紙三枚出品のこと。

。作品を楷、行、草の順に縦に貼つぎすること。
。作品は無落款とし、作品裏面左下にエンピツで現段級と氏名を明記すること。
。当選者は初段以下相当段級位に認定編入する。

△出品料 師範部・八千円／第一部・六千円／第二部・四千元

(作品と同時に納入してください)

師範参考手本は本会役員は書かない。

第一、二部参考手本を希望される人は本会役員に直接申込んで下さい。潤筆料は条幅三点につき一万五千元、半紙三点につき五千元。

▽学生・学童の部 (毛筆部)

課題字句「龍跳」一月号掲載(二月二十日締切)の課題字句とします。
。規格は半紙。一人一点とします。
。書体は自由です。

。作品の裏にエンピツで学年と段級位・氏名を書くこと。(段位は漢数字、級位はアラビア数字で) 作品の表には絶対に書いてはいけません。

。出品料 五百円

▽硬筆作品

。課題の文字は龍跳一月号(一月二十日締切)の課題字句とします。
。それぞれの学年に応じた硬筆用紙に規定の字句、学年段級位、氏名を正しく書いて出品してください。

。段位は漢数字、級位はアラビア数字でハッキリ記入のこと。
。出品料 五百円

△作品の締切

△審査日時 令和七年二月二十七日(木) 必着のこと。
令和七年三月二日(日) 午前九時三十分より

△審査場所 未定

△受験作品送付先 千七三三〇八一 南国市片山四九〇 西山極山 宛

注 封筒表に「昇試作品在中」と明記すること

梅川桂龍書

天清
一
鴈遠

天清くして一雁遠く

1月20日縮切

梅川桂龍書

海闊孤帆遲

海闊して孤帆遅し

福原曉雲書

美 景 鑑 賞 を 恣 に す

びけい かんしょう ほしほし
美景鑑賞を恣にす

福原曉雲臨

趣 勁 薄 莫 興

薄莫興趣勁

六月國苗三
明洞朗
前已久速
同起

津野恵泉

和風慶雲

江月

佐竹江月

多采軍平
使古
起

浜崎洋堂

尔遂非再
獨八座尚書
故令便
向下座州

大井 淳

无差

今井真理

日薄莫
嬖
逆勃然書
教凌幅
頗不慈

大平圭子

儀使上柱國魯郡開
國公顏真卿立德

虎介

川口虎之介

西拖
漫
意
浣
去
紗
惹
玉
今
時
開
無
意
以
真

田村眉州

今公初到
不於
傍披
僧僂就
命
三
州
理
恩
朝
廷
紀
綱

藤原朱鳳

和言
縣
康
三
中
不
者
白
日
友
四
用
崇
遜
坐

森沢美佑貴

条幅当選作品 前田秀華 選評

★天位

津野恵泉君 〓丁寧な臨で線質にみるべきものがある。

佐竹江月君 〓堂々とした作品。

浜崎洋堂君 〓練度高く流れが自然。

大井 淳君 〓字々安定しています。

今井真理君 〓思い切った運筆で躍動している。

★地位

大平圭子君 〓体の動きよく、気脈貫通している。

川口虎之介君 〓若々しきを感じる臨。

田村眉州君 〓一紙よくまとまって、流れもよい。

★人位

藤原朱鳳君 〓ゆつたりとして安定感あり。

森沢美佑貴君 〓沈着な筆線で好感がもてます。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◁

1月の審査は26日(日曜)午前9時30分に開始
します。審査会場は**高知会館**です

日常の
話題

2月20日縮切

給食
当番

2月20日縮切

少年時代

2月20日締切

正公

大明

春を待つ

2月20日縮切

小川

石の

2月20日縮切

まだる

小学一年・ようち・ほいく課題

大八木 洋女 書

天ら

2月20日縮切

学校名	る	よ	と	る	ヤ	
	の	う	イ	ロ	ク	ヤ
	か	に	ソ	ス	の	ド
四		し	ギ	博	関	カ
年		て	ン	士	係	リ
級	観	い	チ	は	を	と
段	察	っ	ヤ		研	イ
氏名	し	し	グ	ヤ	究	ソ
	ま	よ	が	ド	し	ギ
	し	に	ど	カ	て	ン
	た	な	の	リ	い	チ
	。					

2月20日締切

学校名						
三年						
級段 氏名						
	つ	か	ま	列	の	夏
	づ	ら	す	を	す	に
	い		。	見	み	な
	て	え	行	か	な	る
	い	さ	列	け	ど	と
	ま	の	は	る	で	。
	す	あ	。	こ	あ	庭
		る	あ	と	り	や
		所	り	が	の	公
		ま	の	あ	行	園
		で	巢	り		

がっこう						
二						
ねん						
だ						
ん						
き						
ゆう						
な						
まえ						

そうつと水の中を
のぞきこみました。
池の水がきらきら光
つて、ふたりの顔が
うつりました。

がっこう				
	と	た	ふ	
	は	ね	う	子
一 ねん	し	を	せ	と
きだ ゆう なまえ	ま		ん	も
	し	つ	に	た
	た	け		ち
	。	て	花	が
			の	

がっこう				
ほねん	お	ゆ	お	か
だきゆうなまえ	よ	っ	や	も
	い	く	こ	の
	で	り	が	
	い	と		
	ます。			

〈お願い〉

※各市町村の書道展の開催や、
結果について、本部もしくは
編集室にご一報ください。



【認定証について】

昇段、昇級された方で認定証が入用の方は、左記によりお申し込み下さい。

記

★師 範 三千元

★準師範以下一般 二千元

★学 生 一千元

(注意 申込時左記事項を必ずお知らせ下さい。)

- ① 昇段の年月日
- ② 学生は学校名と学年
- ③ 一般は市町村名

(申込先)ご希望の先生に要項を明記した文書で
直接お申し込み下さい。

〒七八一―七四二二

安芸郡東洋町河内三〇四

龍跳書道会 福原暁雲

〒七八一―一三〇一

高岡郡越知町越知甲二二―一七一―一六

龍跳書道会 梅川桂龍

風時 <small>京風</small>	正值秋	風時 <small>京風</small>	正值秋	風時 <small>京風</small>	正值秋	風時 <small>京風</small>	正值秋
風時 <small>津波</small>	正值秋	風時 <small>志象</small>	正值秋	風時 <small>早子</small>	正值秋	風時 <small>世津</small>	正值秋
風時 <small>美香</small>	正值秋	風時 <small>美佐美</small>	正值秋	風時 <small>美華</small>	正值秋	風時 <small>美明</small>	正值秋
風時 <small>美知子</small>	正值秋	風時 <small>志津</small>	正值秋	風時 <small>千賀</small>	正值秋	風時 <small>ちか</small>	正值秋

(一・二段目) 廣末幽念 選評
澄翠君 練度高く堅実な作。
賀峰君 強い線で活力を感じる。
桂山君 筆に伸びがありなめらかな
感じだす。

喜泉君 じっくり落ちついた書きぶ
り。良い。
恵風君 さらさらかな気分です。

和子君 よい線です。よい線でもよい作
品です。

(二・三段目) 野島桂山 選評
世津君 線に温みがあり余白もすば
らしい。
星子君 堅実な書きぶりに好感がも
てる。

恵泉君 温かな線質で明るい。
淳君 落ちつきのある線で流れあ
り。

紫秋君 気負なく温和な作。
(三・四段目) 武内美仁 選評
美邦君 筆が良く立ち、見応えあり。
美草君 形も良く、伸びやかな線で
美しい。

美佑貴君 堂々とした作。気力を感
じる。
美香君 字々明るく、力みなく良く
まとめている。

由利子君 強い線がよく伸びている。
知加君 ゆつたりと五字が納まって
余裕の作。

(四段目) 武内美仁 選評
千賀君 軽妙な筆致で安定した作。
志津君 澄みきつた線で良く伸びて
いる。
美知子君 線に温みがあり余白もと
れ安定している。

号仲秋

月昔

永和九

年歳

歌吹箫

調弦

正值秋

風時

瑞雪近

空

瑞雪近

空

歌吹箫

調弦

無惠止

観妙

遂非

再獨

莫娛

趣勃

藥神明

膏親

玉書過

英山

隆反

担傳

瑞雪近

空

瑞雪近

空

玉書過

英山齋

瑞雪近

空

歌吹箫

調弦

永和

九年

瑞雪近

空

(一・二段目) 福原曉雲 選評

澄翠君 布置章方が大変良い。強靱な線品有り。

極山君 筆致流麗にして古法を極めて

洋堂君 潤渴を利かし流れ良し。「絃」の文字糸編の入りが欲しいです。

廣峰君 近況は隸書に取り組んでいるようですね。一点一画非常にまじめに書けています。

美泉君 用筆法、流れは良い様です。運筆リズムが荒くならない様

注意して。 明子君 規模大で、線質も透んでいて良い。

(二・三段目) 家地桂峰 選評

紅花君 流れ良くまとまっている。祥君 運筆良く力強い。

輝代君 堂々とした作。紫秋君 リズム、筆力ともに良し。

仁陽君 明るく線に深さあり。(三・四段目) 西山極山 選評

美邦君 五文字よくまとめている。美佐貴君 丸みのある線に強さも感じ

美枝君 参考作品をよく研究している。美香君 右作品と同じ。

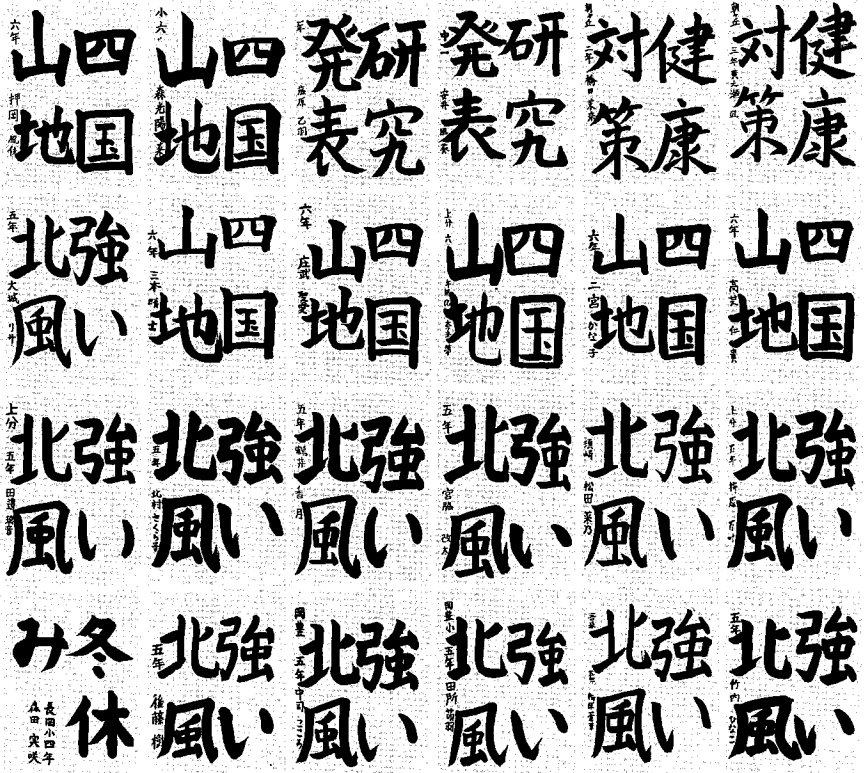
明美君 特徴を良くとらえている。惠美君 大胆さの中にのびやかに書けている。

(四段目) 西山極山 選評

志津君 細い線ながら流れあり。もう少し太い線が安定するのでは。

虎之介君 どの調子で書けている。この調子で。

美知子君 小粒だが本分、名前共によくまとめている。



(一段目) 中学部 岡林邦心 選評

風 君 〓 明るい作品です。
 茉莉君 〓 力強い作で紙面構成も良い。
 風葵君 〓 落ち着いた作ですが「発」の六角目からバラ
 スが残念。

乙羽君 〓 のびやかな線が良い。
 (二・三段目) 小学六年 大八木洋女 選評

陽菜君 〓 一次一字大切に書かれています。
 風佳君 〓 ていねいに書かれています。
 仁貴君 〓 やさしさがうれしい作品です。
 かな子君 〓 お手本をよく見て書かれています。
 来夢君 〓 力強い書き振りでです。
 聖愛君 〓 すばらしく、ていねいに書かれています。
 晴土君 〓 ていねいに書いていますね。この調子でがんば
 って。

(二・三段目) 小学五年 中平美峰 選評

リサ君 〓 のびのびと書きました。
 百叶君 〓 力強い作品です。
 菜乃君 〓 ていねいに書かれています。
 故太君 〓 元氣よく書きました。
 香月君 〓 まじめな作品です。
 さくら子君 〓 しつかり書かれています。
 溜音君 〓 まじめに書きました。
 ひなこ君 〓 元氣に書きました。
 蒼菜君 〓 元氣よく書かれています。もう少し肉があつたら
 いいですね。

萌羽君 〓 形が良くとれています。
 こころ君 〓 のびのびと書かれています。これからも頑張つ
 て下さい。

樹 君 〓 まじめな作品です。
 (四段目) 小学四年 深瀬緑堂 選評

実咲君 〓 素直で明るい。名前もていねい입니다。

冬休 冬休 大雪 大雪 冬休 冬休 大雪 大雪

冬休 冬休 大雪 大雪 冬休 冬休 大雪 大雪

冬休 冬休 大雪 大雪 冬休 冬休 大雪 大雪

冬休 冬休 大雪 大雪 冬休 冬休 大雪 大雪

冬休 冬休 大雪 大雪 冬休 冬休 大雪 大雪

冬休 冬休 大雪 大雪 冬休 冬休 大雪 大雪

(一・二段目) 小学四年 朝陽君 〓 じめに書いています。がんばつて。

蒼來君 〓 のびと力強い。

美緒音君 〓 動きが大きくて良い。

莉李君 〓 元気よく、よくまとまっています。

蒼馬君 〓 物おじせず、元気に書きました。

湊君 〓 明るく落ちついた作品です。

穂花君 〓 よくまとめているが、もう少しゆつくり書いて下さい。

(二・三段目) 小学三年 佐々木港花 選評

香花君 〓 大らかに書きました。

芳尚君 〓 いてねいに書きました。

紗雪君 〓 落ちついて書いてすばらしい。

未來君 〓 元気に書きました。

朋希君 〓 気分は大きく大変良い。

治太君 〓 力強くかけました。

(三・四段目) 小学二年 佐竹江月 選評

涼君 〓 いてねいにおちついてよく書きました。

はるか君 〓 のびと力強く書きました。

連太郎君 〓 元気によく書きました。

かほ君 〓 堂々と太い字で良い。

いぶき君 〓 力強く元気が良い。

みのり君 〓 おちついて書きました。

(四段目) 小学一年・ようちん・ほいく 別役美佐 選評

のぞみ君 〓 おちついてかけてます。

ゆま君 〓 じょうずにかけています。

かお君 〓 げんきよくかけています。

ゆいと君 〓 ちららいつぱいかけています。

あおい君 〓 しっかりとかけています。

多ノ郷 森光 陽菜
浦ノ内 矢野 蒼真

異なる立場の人どうして話
し合うと、自分の立場につい
て新しい見方を見つけたたり
異なる立場のよいところを気
づいたりして、自分の考えを
深めることができました。
浦ノ内 矢野 森光 陽菜

異なる立場の人どうして話
し合うと、自分の立場につい
て新しい見方を見つけたたり
異なる立場のよいところを気
づいたりして、自分の考えを
深めることができました。
浦ノ内 矢野 蒼真

異なる立場の人どうして話
し合うと、自分の立場につい
て新しい見方を見つけたたり
異なる立場のよいところを気
づいたりして、自分の考えを
深めることができました。
長岡 森光 陽菜

異なる立場の人どうして話
し合うと、自分の立場につい
て新しい見方を見つけたたり
異なる立場のよいところを気
づいたりして、自分の考えを
深めることができました。
越知 大原 瑠心

長岡 押岡 風佳
越知 大原 瑠心

城東 持田 和花
上分 梅原 百叶

異なる立場の人どうして話
し合うと、自分の立場につい
て新しい見方を見つけたたり
異なる立場のよいところを気
づいたりして、自分の考えを
深めることができました。
城東 持田 和花

異なる立場の人どうして話
し合うと、自分の立場につい
て新しい見方を見つけたたり
異なる立場のよいところを気
づいたりして、自分の考えを
深めることができました。
上分 梅原 百叶

異なる立場の人どうして話
し合うと、自分の立場につい
て新しい見方を見つけたたり
異なる立場のよいところを気
づいたりして、自分の考えを
深めることができました。
須崎 松田 菜乃

異なる立場の人どうして話
し合うと、自分の立場につい
て新しい見方を見つけたたり
異なる立場のよいところを気
づいたりして、自分の考えを
深めることができました。
浦ノ内 松山 翔

須崎 松田 菜乃
浦ノ内 松山 翔

越知 片岡 杏璃
別府 後藤 樹

儀兵衛の熱意は、外を向こ
うとしていた村人たちの足を
止めた。そして、買金を得ら
れる仕事があり、それが村の
ためになるという事は、村人
たちをふり返らせた。
越知 片岡 杏璃

儀兵衛の熱意は、外を向こ
うとしていた村人たちの足を
止めた。そして、買金を得ら
れる仕事があり、それが村の
ためになるという事は、村人
たちをふり返らせた。
別府 後藤 樹

儀兵衛の熱意は、外を向こ
うとしていた村人たちの足を
止めた。そして、買金を得ら
れる仕事があり、それが村の
ためになるという事は、村人
たちをふり返らせた。
長岡 森田 爽咲

儀兵衛の熱意は、外を向こ
うとしていた村人たちの足を
止めた。そして、買金を得ら
れる仕事があり、それが村の
ためになるという事は、村人
たちをふり返らせた。
久礼 森田 実咲

長岡 森田 実咲
久礼 森田 実咲

浦ノ内 中平 澤里
長岡 西内 明利

次の日、ごんは山でく
りをと、さり拾って、そ
れをかかえて兵十のうち
へ行くと、兵十は、昼飯
を食べかけて、ぼんやり
と考えこんでいました。
浦ノ内 中平 澤里

次の日、ごんは山でく
りをと、さり拾って、そ
れをかかえて兵十のうち
へ行くと、兵十は、昼飯
を食べかけて、ぼんやり
と考えこんでいました。
長岡 西内 明利

次の日、ごんは山でく
りをと、さり拾って、そ
れをかかえて兵十のうち
へ行くと、兵十は、昼飯
を食べかけて、ぼんやり
と考えこんでいました。
池川 北村 日和

次の日、ごんは山でく
りをと、さり拾って、そ
れをかかえて兵十のうち
へ行くと、兵十は、昼飯
を食べかけて、ぼんやり
と考えこんでいました。
浦ノ内 正木 芳尚

池川 北村 日和
浦ノ内 正木 芳尚

硬筆優秀作品

須崎 田村 紗雪
浦ノ内 池田 理人

大豆はいろいろなすが
たて食べられています
大豆のよいところに気づ
き、食事に取り入れてき
た昔の人々のちえにおど
ろかされます。

大豆はいろいろなすが
たて食べられています
大豆のよいところに気づ
き、食事に取り入れてき
た昔の人々のちえにおど
ろかされます。

大豆はいろいろなすが
たて食べられています
大豆のよいところに気づ
き、食事に取り入れてき
た昔の人々のちえにおど
ろかされます。

大豆はいろいろなすが
たて食べられています
大豆のよいところに気づ
き、食事に取り入れてき
た昔の人々のちえにおど
ろかされます。

多ノ郷 太田 朋希
上ノ加江 片山ひまり

すさぎ 金堂 涼
上分 吉村はるか

かん字の読み方
同じかん字でも
かい方によつて、ち
がう読み方をするこ
とがあります。

かん字の読み方
同じかん字でも
かい方によつて、ち
がう読み方をするこ
とがあります。

かん字の読み方
同じかん字でも
かい方によつて、ち
がう読み方をするこ
とがあります。

かん字の読み方
同じかん字でも
かい方によつて、ち
がう読み方をするこ
とがあります。

上分 はし田一か
うらノ内 徳永 隼斗

うらノ内 岡林 ゆい花
あそう まつさかのぞみ

かん字の読み方
同じかん字でも
かい方によつて、ち
がう読み方をするこ
とがあります。

中には、けいと
のチヨッキが、
三まい入って
いました。

中には、けいと
のチヨッキが、
三まい入って
いました。

中には、けいと
のチヨッキが、
三まい入って
いました。

あそう うめばら ゆま
うらノ内 吉おか まひろ

うらノ内 みや田 いと
ふぞく えがしらこう

中には、けいと
のチヨッキが、
三まい入って
いました。

中には、けいと
のチヨッキが、
三まい入って
いました。

おひさまが
のぼって
あたたかい
あさです。

おひさまが
のぼって
あたたかい
あさです。

かみぶん なかじまゆいと
すさぎ こんどう こな

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切つて下さい。
★臨書は出典名を記入のこと。

随意

審査 福原 晴雲

★師範

江西澄翠 山極山 濱崎洋堂 大原桂爾 弘田賀峰 岩河里華 野中恵花 深瀬緑堂 水田紅子 河村容舟 中平美峰 萩野羽花 矢野峰臣

★準師範

小笠原廣峰 氏原美泉 松浦明子 田村眉州 池川千晶 高橋朱鳥 別役美佐 山本喜恵 丸田宏子 大野美賀 西内仁子 吉田深美 桑原智子

審査 塚地 桂峰

★六段

岩崎竹山 大平圭子 山川百合 高橋桜芳 山西春草 山中美雪 小野山美雪 鎌倉春葉 藤原朱鳳 横山桂華 大崎紫華 池芳春 橋本祝子 門田恵子 戸田和子 岡田雄山

★五段

岩谷紅花 岩村祥 下元玉泉 伊吹悠道 坂本碧香 松本世津 鈴木輝代 濱田幸子 大井淳 笠原多嘉

★四段

審査 西山 極山

★三段

横田紫秋 西岡仁陽 西森啓助 瀨田順子 山崎隆志 中澤英子 岡本薫山 岡本美水 高橋翠園

★二段

森澤美佑貴 林 隆光

★初段

松坂美枝 市川美香 西尾明美 和田恵美 前田伸枝 藤原勝子 西村百花 川下久遠 掛水勝恵 大原紀美子 松島利恵

審査 西山 極山

★一級

★二級

濱田美恵子 川崎志津 川口虎之介 尾立千賀 小松悦枝 藤田美知子 山岡斗子

第895回毛筆成績

○印は昇級

中学部

小学部

審査 岡林 邦心

三年

★特待生

朝ヶ丘 黄之瀬 屈

二年

★特待生

朝ヶ丘 橋田 茉奈

一年

★九段

鷺ヶ池 安井 風葵

★八段

池川 藤原 乙羽

毛筆六年

審査 大八木 洋女

★特待生

多ノ郷 森光 陽菜

★九段

長岡 押岡 風佳

★八段

長岡 高芝 仁貴 岡豊 二宮 嘉奈子 長岡 二宮 嘉奈子 上分 朝比奈 来夢

★三段

別府 庄武 聖愛

★初段

附属 三本 晴士

毛筆五年 審査 中平 美峰

★九段

多ノ郷 大城 リサ

★八段

上分 梅原 百叶 須崎 松田 菜乃

★七段

長岡 宮脇 改太 池川 鶴井 香月 上分 小松 希美 須崎 谷口 桜心

★六段

長岡 北村 さくら子 岡豊 島村 倅空 多ノ郷 橋田 天呀

★五段

上分 田邊 璃音 長岡 竹内 陽南子 上分 柳本 稀衣 須崎 田村 拓海

(出品票)

のり代

7年 2月 幅

氏

名

臨書は出典名

第694回硬筆成績

○印は昇級

<p>★四段 吾桑 梅原蒼葉 岡豊 田所萌羽</p> <p>★三段 吾桑 吉門蒼馬</p> <p>★二段 長岡 小笠原淡 吾桑 宮崎穂花 長岡 西内明利 夜須 清藤 蘭</p> <p>★初段 長岡 溝淵蒼功</p> <p>毛筆四年 審査 深瀬 緑堂</p> <p>★八段 長岡 森田実咲</p> <p>★七段 小高坂 川西康介</p> <p>★六段 夜須 西村朝陽</p> <p>★五段 吾桑 高橋蒼來 吾桑 松坂美緒音 須崎 金堂莉李 佐古 田村健悟 須崎 津野聖佳 馬路 小松太緒</p>	<p>★三段 多ノ郷 太田朋希 長岡 竹内伽菜心 岡豊 島村心遙 長岡 押岡息吹 長岡 猪野光騎</p> <p>★二段 長岡 宮脇治太 多ノ郷 森光梨衣奈</p> <p>★初段 越知 藤崎華乃 吾桑 長山優奈</p> <p>★二級 長岡 ○澤村かな</p> <p>★八級 夜須 ○白石一華 夜須 ○白石一莉</p> <p>もうひつ二年 審査 佐竹 江月</p> <p>★四段 須崎 金堂 涼</p>	<p>★三段 上分 吉村はるか 多ノ郷 森光連太郎</p> <p>★二段 多ノ郷 橋田かほ 吾桑 高橋依吹 上分 はし田一か しんじょう 中じまあやと</p> <p>★初段 岡豊 中司みのり 岡豊 島村昇牙 朝倉 根口心花</p> <p>★一級 須崎 谷口ぎずな</p> <p>★四級 馬路 ○小松時生</p> <p>★新規 九級編入 長岡 大塚もも</p>	<p>もうひつ一年 審査 別役 美佐</p> <p>★二段 吾桑 松坂望未</p> <p>★一級 吾桑 梅原由菜</p> <p>★六級 岡豊 ○おぎかお</p> <p>もうひつ ようち・ほいく</p> <p>★初段 上分 なかじまゆいと</p> <p>★一級 須崎 こんどうこな ふたば 後藤和葉</p> <p>★四級 池川 ○鶴井遙都</p> <p>★九級 野田 ○まつぎあおい</p>	<p>硬筆八年 こうひつ 審査 江西 澄翠</p> <p>★特待生 多ノ郷 森光陽菜 浦ノ内 矢野蒼真 新莊 鍋島 綜</p> <p>★九段 長岡 押岡風佳 久礼 濱田 奏</p> <p>★八段 長岡 高芝仁貴 馬路 牛窓環菜 上分 朝比奈来夢</p> <p>★七段 越知 大原瑠心 長岡 二宮嘉奈子 藤沢 駒崎愛晴 多ノ郷 森岡快晴</p>	<p>★四段 城東 持田和花 大谷北 大木柚杏 大谷北 山崎流依 須崎 川西蒼空 須崎 川西蒼空 馬路 浅野由梨</p> <p>★初段 附属 三本晴士</p> <p>硬筆五年 こうひつ 審査 野中 恵花</p> <p>★九段 上分 梅原百叶 多ノ郷 大城リサ 多ノ郷 松浦結菜</p> <p>★八段 須崎 松田菜乃 上分 小松希美</p>
--	---	---	--	---	---

(出品票) 低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

のり代	7年 2月 規定	地名	氏名	段級	のり代	7年 2月 随意	臨出典名	氏名	段級		
			<p>★七段 浦ノ内 松山翔 浦ノ内 美島希以花 長岡北村 さくら子 宮脇 改太 窪田 榮優 久礼 谷口 桜心 須崎 竹内 陽南子 長岡 森岡 虹 久礼 森岡 虹</p> <p>★六段 越知 片岡 杏璃 上分 田邊 璃音 浦ノ内 森田 葵 多ノ郷 橋田 天牙</p> <p>★五段 浦ノ内 山本 彩喜 上分 政岡 桃加 須崎 田村 拓海 吾桑 梅原 蒼菜 上分 柳本 稀衣</p> <p>★四段 浦ノ内 久保 田健介 岡豊 島村 梓空 潮見 須賀 勇介 上分 岩田 愛菜</p> <p>★三段 岡豊 中司 ころ 岡豊 田所 萌羽</p>								
			<p>★二段 別府 後藤 樹 藤沢 駒崎 信慈</p> <p>★初段 浦ノ内 中田 湖音</p> <p>★一級 吾桑 高橋 芽生奈 吾桑 堅田 有咲</p> <p>硬筆四年 こうひつ</p> <p>審査 森本 寿山</p> <p>★八段 長岡 森田 実咲</p> <p>★七段 夜須 西村 朝陽 小高坂 川西 康介</p> <p>★五段 久礼 薦田 コモモ 須崎 津野 聖佳 吾桑 高橋 蒼菜 須崎 金堂 莉李 夜須 清藤 蘭 越知 米澤 陽翔 吾桑 松坂 美緒音</p>								
			<p>佐古 田村 健悟</p> <p>★四段 浦ノ内 中平 澤里 久礼 黒原 小夏 越知 西森 優奈 久礼 今橋 那ノ葉</p> <p>★三段 吾桑 宮崎 穂花 上分 橋田 陸 吾桑 吉門 蒼馬 馬路 木下 歌乃</p> <p>★二段 長岡 西内 明利 長岡 小笠原 湊 大谷北 大木 陽智 吾桑 笹岡 蒼馬</p> <p>★初段 池川 北村 日和 池川 大原 穂乃花 越知 片岡 亜李紗 池川 片岡 亜李紗</p> <p>★一級 奈路 植野 新</p> <p>★三級 上分 ○中山 結愛</p>								
			<p>硬筆三年 こうひつ</p> <p>審査 市原 處帥</p> <p>★六段 浦ノ内 正木 芳尚 須崎 毛利 香花</p> <p>★五段 須崎 田村 紗雪 須南 西村 太希</p> <p>★四段 浦ノ内 池田 理人 浦ノ内 藤田 彩葉 浦ノ内 山本 瑞貴</p> <p>★三段 多ノ郷 太田 朋希 長岡 竹内 伽菜心 岡豊 島村 心遙 多ノ郷 森光 梨衣奈 長岡 押岡 息吹 長岡 藤岡 洽太 越知 藤崎 華乃 多ノ郷 坂本 大和 多ノ郷 梅原 未來 久礼 藏下 夏愛</p> <p>★二段 上分 片山 ひまり</p>								
			<p>久礼 松山 愛凛 吾桑 長山 優奈 上分 日林 ゆあ 長岡 吉原 綾人 須崎 猪野 光騎</p> <p>★初段 夜須 白石 一華 夜須 白石 一華</p> <p>★三級 長岡 ○澤村 かな</p> <p>★四級 浦ノ内 ○森田 海音</p> <p>こうひつ二年</p> <p>審査 石川 美水</p> <p>★四段 須崎 金堂 涼</p> <p>★三段 上分 吉村 はるか 多ノ郷 橋田 かほ 多ノ郷 森光 連太郎 吾桑 高橋 依吹</p> <p>★二段 上分 はし田 一か</p>								

筆・硯・墨・古法帖・墨液・画仙紙
書道用具萬般乞来店

(株) 818 百 齋

高知市南宝永町14-18
TEL (代) (882) 1394番
夜間・TEL (882) 1392番

浦ノ内 徳永隼斗 浦ノ内 岡林結花 しんじょう 中じまあやと かも 山岡みづき 朝倉 根口心花 久礼 黒原りか ★初段	長岡 安井 颯 池川 上村心晴 池川 伊藤日向 池川 片岡紗香 久礼 下谷こと春 岡豊 中司みのり 池川 北村心暖 久礼 政岡有美 ★二級	奈野 植野 葵 岡豊 島村昇冴 上上 政岡そうし 上上 木村成と 吾桑 鈴木花 ★二級 長岡金堂こうすけ ★三級 久礼 ○小林なほ 須崎 ○谷口ぎずな	★四級 久礼 ○岩瀬 渉 上上 大内ゆずの 久礼 近藤みのり ★五級 久礼 加茂みやび ★六級 吾桑 ○堅田彩乃 吾桑 ○宮崎陽香 馬路 木下魁人 ★七級 長岡 ○村上こゆ ★八級 大谷北 ○倉持百花 ★九級 城東 ○丸山颯士 城東 ○まる山はやと ★十級 長岡 ○大塚もも	こうひつ一年 審査 石川 美水 ★三級 吾桑 松坂望未 吾桑 梅原由葉 ★二級 浦ノ内 吉岡まひろ 多ノ郷 坂本美咲 ★初段 浦ノ内 宮田いと 附属 江頭航 浦ノ内 中平ゆう大 ★三級 久礼 ○もりおかべに ★五級 佐川 ○井上めい 高岡 ○隅田しゅう 浦ノ内 ○寺内かなえ 久礼 ○なるかなえ	★八級 多肥 ○隅田ゆうじん 岡豊 ○おぎかお こうひつ ようち・ほいく 審査 石川 美水 ★初段 上分 なかじまゆいと ★一級 須崎 こんどうこな ★二級 ふたば 後藤和葉 ★十級 野田 ○まつぎあおい おひさま ○森光莉菜 ★新規 十級編入 おひさま もりみつるな
--	---	--	---	---	--

中国文房四宝
 国産書道用品
 久保田号銘筆

有限
 会社

樹 筆 堂

〒780-0818 高知市宝永町3-3
 TEL (088) 882-1454
 FAX (088) 884-7413

龍跳書道会のきまり

本会は竹村子雀創立の主旨に則り古典を基調とし、雄大且つ豊かな気性を養い、心から発する飛動の筆を練り、古典に徹して、己の心芸に到達すべく人格培養の道場であります。

「龍跳」の由来

王羲之「草書行穰帖」の文の中の龍跳天門虎臥鳳閣（龍は天門に跳び、虎は鳳閣に臥す）より引用命名した。

会員の規定

一、会員となるには龍跳誌代に送料を添えてお送り下さい。

行事

- 1、本会は年に一回龍跳書展を開催します。
- 2、本会は毎月一回機関誌「龍跳」を発行し、会員の競書を左記課程により募ります。

出品票)

のり代

7年
2月
毛筆

校名	学年	氏名	段級

のり代

7年
2月
硬筆

校名	氏名	段級

一般部（成人部）

- 一、条幅部（任意）
- 一、半紙漢字部（規定、随意）

教育部（中、小、幼）

- 一、半紙規定部及び硬筆部
- 学年別規定課題に限りません。

競書、出品

清書のべ切日

- 一、毎月二十日

一、清書には必ず所定の出品票を作品左下端に貼付して下さい。

- 一、新規出品は、出品票の級欄に「新」と記入、二回目には編入された段級を記入して下さい。
- 一、毎月発表の成績に○印がいたら昇級です。から次回から一階級上の級で出品して下さい。
- 一、規定、随意は共通とし、一方が昇級すれば双方昇級となります。

審査日

作品べ切日の次の日曜日です。

腕法（わんぼう）について

書写する時の腕の構え方をいう。腕法には懸腕法・提腕法・枕腕法・廻腕法がある。懸腕法は、手首と肘を机から浮かせ、自在に腕が動くような構え方。多く双鉤となり、懸腕直筆という熟語もある。これによると運腕が大きくなるので大字を書くのに適している。提腕法は、肘から手首に近い部分を机に軽くつけて構える法。中字以下を書くのに適している。枕腕法は、左手を紙の上に置き、掌の甲を枕にして右手首を軽く乗せて書く構え方。着腕法ともいう。その多くは単鉤となり、細字や仮名を書く場合に最適である。廻腕法は、日下部鳴鴨が唱導した腕法で、右肘を半月形に張り出し、母指と四指とを向い合わせて筆管を持ち体の前面にかかえ込むような構え方である。特殊な腕の構えである。このような腕の構え方は書の巧拙に大きく影響するので、表現によつて工夫する必要がある。

（書学大系より）

連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三二一

隅田巨心

龍跳誌部

新開口町

01690-3-31925

電話(〇八八九)三五〇九七一

・月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話(〇八八)八六五八八五七番

・「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原暁雲

電話(〇八八七)二九一二六五〇番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話(〇八八九)四二一三〇六七番

・送本についての連絡先

(冊数の相違等については当方へご連絡下さい。)

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話(〇八八九)四七〇七二二番

あとがき

○新年明けましておめでとうございます。

二〇二五年(令和七年)初めての龍跳誌のお届けです。

不安定な世の中が続いていますが、年始めにあたり全ての会員の幸多からんことをお祈りします。

○日本国中全ての市町村で子どもさんの数が激減しています。このことが大きな原因で龍跳書道会は財政的にきびしい状況が続いています。

努力と工夫で長期的に、安定的に持続可能な状態にしようとする役員で議論を進めています。会員の皆さん方のご協力もよろしく願います。

十二月二十二日

月例競書課題

保 育	一年	二年	三年	四年	五年	小学六年	一年	二年	中学三年	半紙随意	半紙規定	一般条幅	部 別
	そ ら	だ る ま	川 の 小 石	春 を 待 つ	公 明 正 大	少 年 時 代	給 食 当 番	日 常 の 話 題	任 意	任 意	海 關 孤 帆 遅	任 意	縮 切 日
	は る	さ く ら	若 み ど り	山 水 の 美	工 場 見 学	学 力 試 験	記 念 写 真	大 志 を 抱 け	任 意	任 意	白 日 行 欲 暮	任 意	縮 切 日

会費の送金について

会費：半年分 3,000円 / 1年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料 (R6.10~)
(幸便搬送の方は送料不要)

Ⓐ	1冊	180円
Ⓑ	2冊~7冊	210円
Ⓒ	8冊~20冊	430円

21冊以上は次の計算による。

21冊 ①+Ⓐ=610円×月数
22冊~27冊 ①+Ⓑ=640円×月数
28冊~40冊 ①×2=860円×月数
50冊の場合 ①×3=1,290円×月数

◎会費と龍跳誌送料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ
 ・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
 ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
 (お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号(○冊)より○月号まで○ヶ月分
誌代 ○円 / 送料 ○円

と記入のこと。

編集室

福原 曉雲

野島 桂山

江西 澄翠

中平 美峰

発行人

福原 曉雲 (本部)

安芸郡東洋町河内三〇四

電話 (〇八七) 二九一二六五〇

発行所

龍跳書道会

電話 (〇八七) 二九一二六五〇

印刷所

(有)笹岡印刷所

須崎市東古市町二一六

電話 (〇八九) 四二一〇二四四

月例作品送り先

〒783-0081 南州市片山四九〇

西山極山 宛

電話 (088) 86518857